

平成 24 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 ウ ラ イ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 裏 井 紳 介
 (J A S D A Q ・ コード 2658)
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 総 務 統 括 本 部 長 齊 木 正 一
電 話 075-361-0330

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、「継続企業の前提に関する注記」につきましては、「平成 24 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において既に記載を解消いたしております。

記

当社グループは、利益計上体制の構築に向けて、収益状況に見合った適正な要員の実現を図るとともに、外部環境の変化を考慮した中期経営計画を策定し、①事業部門取扱商品の相乗効果による販売強化、②販売部の地域別再編による営業効率の改善、③商品管理の徹底、④費用対効果の管理の徹底、また、在庫リスク及び債権リスクへの対応と経営資源の見直しによる資産効率向上に努める等収益力の強化と財務体質の改善に向けて取り組んでまいりました。

その結果、平成 24 年 3 月期連結会計年度におきましては、105 百万円の営業利益、77 百万円の経常利益、当期純利益 82 百万円を計上する状況に至るとともに、同連結会計年度末での借入金残高は 3,928 百万円と前年同期比 293 百万円の減少とすることができました。

また、当第 1 四半期連結累計期間におきましては、売上季節指数が低い期間であることから、営業損益、経常損益におきまして前年同期比で改善しているとはいえ損失を計上している状況にありましたものの、当第 2 四半期連結累計期間におきましては、営業利益で 44 百万円(前年同期は 9 百万円の営業損失)、経常利益は 30 百万円(前年同期は 23 百万円の経常損失)、四半期純利益におきましては固定資産売却益での 750 百万円の計上もあり 862 百万円(前年同期は 32 百万円の四半期純損失)とすることができ、財務面におきましても、当第 2 四半期連結会計期間末での有利子負債残高は固定資産の売却等により 2,498 百万円と平成 24 年 3 月期連結会計年度末に比し 1,430 百万円減少させるとともに、一部を長期借入金及び社債へ変更する等財務内容の改善を図っております。

以上の結果、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況は解消されたものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

当社グループは、今後も引き続き経営資源の見直しによる資産効率の向上を図る事により、事業効率の一層の改善を進め、業績と経営基盤の安定に向けて努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上